

第 141 回理事会
第 27 回評議員会

令和 6 年 3 月 2 日 議決
令和 6 年 3 月 11 日 議決

令和 6 年度

事業計画書

令和 6 年 4 月 1 日から
令和 7 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 天理よろづ相談所

奈良県天理市三島町 200 番地

令和6年度 事業計画書

公益財団法人天理よろづ相談所は、医学医術の向上のための研究及びその成果の普及並びに医療従事者の養成などを行い、疾病に伴う諸問題の指導解決に寄与し、三部門が緊密なる連携のもとに、悩める人々に、身体と心と生活の面からの救済を目指し、人間の幸福と広く公共の利益の増進を目的に事業を推進する。

「身上部（みじょうぶ）」は医学研究及び現代医学の粋を集めた医療設備をもって患者の診療にあたる。

「事情部（じじょうぶ）」は心の苦悩の解決・指導にあたる。

「世話部（せわぶ）」は生活上の諸問題に関する相談世話どり、また当所の医療従事者の養成及び育成に関する世話どりを行う。

各部門の事業計画は下記の通りである。

〔I〕 身上部

1 医学研究所

- (1) 研究所の充実を図り、研究の増進と、国立大英図書館の定期購読誌に選ばれた学術誌「天理医学紀要」(Tenri Medical Bulletin) を継続刊行し、その国際的認知度を高める。
- (2) 分子生物学的研究、染色体解析、電子顕微鏡検査などを継続発展させ、更なる病院の高度先進医療提供の使命に寄与する。
- (3) 研究所の設備、要員を提供し、臨床研究の支援及び教育を行い、臨床教育機関としてレベルアップを図る。
- (4) 本院で治療した患者の長期追跡データを解析して、治療法や治療評価法の改善に努める。
- (5) 地域医療マネジメントや医療経済の分析等の分野研究を充実させる。

2 病院

- (1) 設立の理念は患者に出来る限りの親切と高度な医療を提供する。
- (2) 診療部門の強化充実と職員教育、特にひのきしん（奉仕活動）の精神の徹底を図り、患者中心のチーム医療の実践に努める。
- (3) 医療の質の管理とともに、独自の医療安全管理マニュアルに基づき、医療の安全の推進と医療事故の防止にあたる。
- (4) 個人情報保護法に基づき、患者の個人情報保護に関する規程を遵守し、遺漏なきよう万全の対策を図る。
- (5) レジデント教育体制の更なる充実と発展を図る。専門医制度に適合するシニアレジデント・後期研修制度を更に発展させる。
- (6) 医師などに国内外での留学、研修を行う体制を整え、医療の向上に資する。
- (7) 奈良県立医科大学や済生会中和病院との間で連携締結を行い、救急及び地域医療（奈良県及び三重県西部）の更なる貢献に努める。

- (8) がん診療連携拠点病院としての事業、地域医療連携の推進を図る。がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療支援センターを設置し、京都大学、奈良県立医科大学と連携してがんゲノム医療にあたる。
- (9) 新型コロナウイルス感染症協力医療機関として、今後も奈良県との連携を行い、官民一体となった医療体制を整える。
- (10) ICU（集中治療室）や SCU（脳卒中治療室）の充実を図り、高度な先進医療の推進を実施する。今後も心不全・脳卒中患者の受入を積極的に行い、引き続き急性期病院としての役割を担う。
- (11) 白川分院を中心として行われる在宅医療は、在宅診療や在宅看護の充実を図り、強化型在宅療養支援病院として、今後も安心・安全な在宅医療を目指し、更なる医療の質の向上を図る。
- (12) 終末期医療を受ける患者から、経済的不安を取り除き、安心して入院生活を送れるよう緩和ケア病棟の個室料金無料化制度を継続し、一人でも多くの患者が安心して療養できるよう更なる内容の充実を図る。
- (13) 患者総合支援センターは、初診受入から退・転院、さらには在宅ケアまであらゆる過程における相談・支援業務の充実を図る。
- (14) 海外医療については、職員の身の安全を考慮しつつ、活動を押し進める。
- (15) 公益目的事業を成し遂げるため、高度な先進医療を担う医療従事者養成・研修機関として、天理よろづ相談所の創設の理念を理解し、不特定多数の患者へ安心・安全な医療を届けられる人材育成を目的とした当職員の講師派遣や奨学金制度、また手厚い指導体制を整えて積極的に実習を受入れる等、今後も医療従事者の養成を継続して行う。学生寮については、公益性を高めた寮運営を継続する。
- (16) 耐用年数の超過した機器は、工期を分けて更新する。特にリニアック装置は保守継続が困難になることから令和 6 年度中の更新を目指す。また電子カルテも保守継続が困難になることから電子カルテ更新計画を立て、それに合わせて医療 DX 化を進める。今後の外部病院とのカルテ連携機能等の強化については、セキュリティ対策を施しながら総合的な更新計画を立案し押し進める。
- (17) 国が押し進める、医師の働き方改革についても、医師事務作業補助者や特定行為看護師を含む医療従事者の養成・研修（プロフェッショナルリズム向上）等を行い、チーム医療の充実などタスクシフトを推進する。
- (18) 病院機能の更なる充実を図るため、令和 6 年 5 月の病院機能評価の受審に向けて職員が一丸となり、患者目線でのサービス向上、病院の体制作りに取り組む。
- (19) 本館・南病棟の空きスペース、多種の医療機器と人材を活用し、日帰りドックや特定健康診査の受入体制を整え、疾病予防や早期発見に繋げ、更なる住民の健康増進に寄与する。
- (20) 地域住民の健康増進の意識向上を推進するため、事情部、世話部と協力して、大阪、愛知事務所においてやオンラインも交えながら「憩の家講座」を開催する。
- (21) 道路に面した南別館は、耐震に問題があると県より指導を受け、災害時の倒壊を防ぐため、引き続き解体を行い、跡地については事業所内で行う託児・学童保育の健康広場として活用予定である。
- (22) 令和 5 年 12 月に認可を受けた DMAT は県の出動要請を受け、救援活動にも積極的に参加・活動を行う。

〔Ⅱ〕事情部

- (1) 入院患者に対して、心の悩みを解消し精神的安定を得ることを目的に、事情部教師が患者の話を聞き相談にあたる。また適宜、病氣平癒の祈りを行う。
- (2) さまざまな病氣や事情の悩みから当相談所を訪れる人々に対して、事情部において、教えに基づいて相談に応じる「外来相談」を行う。また、電話や手紙でも対応する。
- (3) 地域住民の健康増進の意識向上を推進するため、身上部、世話部と協力して、「憩の家講座」を開催する。適時、大阪、愛知事務所においても開催する。
- (4) 患者の苦悩解決に向けて院内放送やビデオの放送を提供する。また、入院患者及び付添人に対して出版物の貸し出しを行う。
- (5) 医師、看護師、勤務者との相互理解や当所の創設理念の周知徹底などを目的として、懇談会や勉強会、研修会を開催する。
- (6) 事情部教師の資質の向上を目的に、勉強会や研修会を開催する。
- (7) 入院患者の平癒と心の悩みの回復を祈念して誰にでも自由に参加できる朝夕のおつとめを勤める。また職員と共に毎月「憩の家月次遙拝式」を勤め、入院患者及び外来者の平癒と悩みの解決を祈念する。
- (8) 白川分院において、リハビリ・長期療養者の相談にあたるとともに、礼拝所にて朝夕のおつとめ並びに月次祭及び春秋の霊祭を勤める。
- (9) 入院患者及び外来者の個人情報保護に遺漏なきよう万全の対策を図る。

〔Ⅲ〕世話部

- (1) 創設の理念に基づいて、医療に従事する者（医療ようぼく）の育成を推進する。
- (2) 低額診療事業の推進・医療費減免制度の適正なる運用を期する。
- (3) 在宅療養運営委員会を設置し、在宅療養支援事業の適正な運営を図る。
- (4) 身上部と連携し、患者総合支援センターを設置、患者の相談・支援業務の連携及び充実を図る。
- (5) 所内ひのきしん（奉仕活動）の拡大充実を推進し、運営の側面的支援につなげる。
- (6) 刊行物や印刷物、また Web 等を活用し、当所の創設の理念並びに事業内容の広報にあたる。
- (7) 地域住民の健康増進の意識向上を推進するため、身上部、事情部と協力して、「憩の家講座」を開催する。適時、大阪、愛知事務所においても開催する。
- (8) 職員が安心して働く職場環境を調べ、もって人材確保に資するため、めばえ託児所、わかぎ学童保育所の運営充実にあたる。
- (9) 入院者及び外来者の個人情報保護に遺漏なきよう万全の対策を図る。
- (10) 教育・研修事務局を設置、組織的な人材育成の仕組みを構築し、職員の能力と専門知識の向上を図る。

令和6年度 収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

収入計：317億9495万0千円

支出計：328億2645万0千円

収支差額：△10億3150万0千円

事業収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公1		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	50,000		50,000
事業収益			
医業収入	31,257,900,000	172,100,000	31,430,000,000
その他の事業収入	214,900,000		214,900,000
受取寄附金			
受取寄附金収入	105,000,000		105,000,000
受取補助金			
受取補助金収入	45,000,000		45,000,000
経常収益計	31,622,850,000	172,100,000	31,794,950,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料	9,236,000,000		9,236,000,000
諸手当	728,000,000		728,000,000
賞与	1,629,000,000		1,629,000,000
退職給付費用	1,098,000,000		1,098,000,000
法定福利費	1,510,000,000		1,510,000,000
要員養成費	276,500,000		276,500,000
事情相談費	43,400,000		43,400,000
世話相談費	10,600,000		10,600,000
海外医療対策費	5,000,000		5,000,000
研究費	98,000,000		98,000,000
研修費	20,700,000		20,700,000
医療薬品費	9,700,000,000		9,700,000,000
医療材料費	3,100,000,000		3,100,000,000
給食材料費	46,000,000		46,000,000
医療消耗備品費	10,000,000		10,000,000

事業収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公1		
厚生費	60,000,000		60,000,000
旅費交通費	20,000,000		20,000,000
車輛維持費	10,000,000		10,000,000
職員被服費	20,000,000		20,000,000
患者被服費	500,000		500,000
通信運搬費	34,800,000		34,800,000
消耗品費	110,000,000		110,000,000
一般消耗備品費	5,000,000		5,000,000
会議費	100,000		100,000
光熱水費	550,000,000		550,000,000
燃料費	100,000		100,000
修繕費	550,000,000		550,000,000
営繕費	153,000,000		153,000,000
賃借料	15,000,000		15,000,000
委託費	2,000,000,000		2,000,000,000
渉外諸費	1,200,000		1,200,000
諸会費	6,500,000		6,500,000
租税公課	43,500,000		43,500,000
調査研究費	200,000		200,000
図書費	1,800,000		1,800,000
広報費	1,000,000		1,000,000
保険料	40,000,000		40,000,000
雑費	63,000,000		63,000,000
貸倒損失	5,000,000		5,000,000
診療費割引	149,400,000		149,400,000
救護費	600,000		600,000
寄附金支出	100,000		100,000
支払利息	96,850,000		96,850,000
支払手数料	16,000,000		16,000,000
職員給食材料費	40,000,000		40,000,000
職員宿舍費	109,000,000		109,000,000
研究受託費	20,000,000		20,000,000
減価償却費	1,020,500,000		1,020,500,000

事業収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公1		
管理費			
給料		28,000,000	28,000,000
諸手当		11,000,000	11,000,000
賞与		1,400,000	1,400,000
退職給付費用		8,500,000	8,500,000
法定福利費		4,800,000	4,800,000
役員報酬		19,000,000	19,000,000
厚生費		24,500,000	24,500,000
旅費交通費		2,000,000	2,000,000
会議費		1,200,000	1,200,000
賃借料		10,000,000	10,000,000
渉外諸費		3,000,000	3,000,000
広報費		1,200,000	1,200,000
その他の諸費		1,000,000	1,000,000
減価償却費		56,500,000	56,500,000
経常費用計	32,654,350,000	172,100,000	32,826,450,000
収支差額	△ 1,031,500,000	0	△ 1,031,500,000